

令和7年度 地域連携推進会議

～障がい者支援施設共栄～

会 議 錄

会議名：地域連携推進会議～障がい者支援施設共栄～

開催日時：令和7年12月5日 10:00～11:50

場 所：共栄 会議室

出席者：石田宜和様（利用者代表）、角田紘希主査（北広島市役所）、
今 隆志様（社会福祉協議会）、田邊義勝様（長沼陽楓会）、
小貫 晃一様（緑伸会）
北口入所統括部長、中島施設長、佐藤課長、内田係長、忠鉢

欠席者：大隅 喜久雄様（利用者家族代表）

記録者：忠鉢

検討課題・会議内容

◎当日の流れ◎

- 10:00 中島施設長挨拶
各委員自己紹介
10:15 事業概要
事業計画遂行状況報告
経営状況報告
11:00 施設見学
11:40 質疑
中島施設長挨拶
11:50 終了

◎事業概要・事業計画遂行状況報告・経営状況報告については、別紙資料参照。

◎施設見学

※C・Dパートについては、風邪症状が見られている方がいた為、割愛。

職員室玄関前に飾っている、生活介護の活動写真やスヌーズレン室、利用者様の作品を見て
いただいてから、浴室・1階マルチスペース・Aパート・Bパート・2階マルチスペースを
見学していただいている。

Aパート・Bパート・2階マルチスペースでは、福祉器具を実際に見ていただいている。

◎質疑・感想等

今 様～障がい者施設も、高齢者施設の役割を担う時が来ているのだと感じた。

地域移行に関しては、ご本人の意思を実現できて良かった。

Q、平均年齢を教えて欲しい

A、58.9歳

小貫様～生活の場の選択等丁寧に取り組んでいることがよくわかった。

長く利用されている方が多いからこそ、“看取り”といったことがでてきていて、重要な役割だと思っている。

Q、家族勉強会の内容について教えて欲しい

A、「施設と家族それぞれの役割について」を前回実施し、今後「摂食嚥下について」をテーマに実施予定となっている。

田邊様～介護度が上がってくると、福祉機器や看取りについての課題が出てくる。

安心ノート（エンディングノート）の活用の必要性も実際に感じた。

角田様～決定したサービスがどのように提供されているのか、実際に見ることができて良かった。

Q、地域移行を希望されている方はいるのか？

A、個々の理解度に合わせた説明をして、現在は“体験してみたい”という方から体験利用をしている。

実際に体験して、共栄を選択した方もいる。

ご本人の意思の汲み取り方については、今後も試行錯誤していく必要がある。

中島施設長より

各法人の状況は様々あるが、“本人の意思”が何よりも大切になる。

利用している利用者様にとってより良い方法と、ご家族へのフォロー（安心してもらえるような関係性作り）も重要になってくる。

また、身元引受人については整備が必要である。

以 上